

ボランティアポイント制度の検討経過について

○ポイント制度を検討するにあたって

ポイント制度導入する意義

- (1) 地域の支え合い活動等の担い手を増やす
- (2) 高齢者等の介護予防・生きがいの促進
- (3) 高齢者等の活躍の場の創出
- (4) 高齢者の社会参加の促進
- (5) 住民相互の声かけ見守りなどによる安心・安全な共生社会づくり

○ポイント制度検討

健幸マイレージ

マイナンバーカード・民間連携によるスマートフォンアプリ等を利用

健幸マイレージ

健幸マイレージは、健康づくりに対してのポイント付与が目的ではありませんが、健康づくりがすなわち介護予防であり、健康づくりをきっかけに地域活動へ参加する方が増加することを期待して、本部会で協議する案としました。

(課題)

- ・生活支援活動にはポイントが付与されない(運動や体操などの活動が対象)
- ・ポイント付与は2年度分のみで、定員1,000名の制限がある。

マイナンバーカード・民間連携によるスマートフォンアプリ

民間企業への聞き取りも含めて検討した結果、マイナンバーカードやスマートフォン等を利用した使いやすいポイント制度が現在のシステムでは、機器やインターネット環境が必要であり、ポイント交換に拠点まで出向く必要もあることから、時期尚早であると思われます。

詳細は資料3・4をご参照ください。